



南島原市国際交流員

フランチのチャオ! 南島原 「日本の魅力的なところ」



今月は、私が感じる日本の魅力についていくつかピックアップします。

●日本人

地域、田舎か都会かによってやや違いますが、基本的に日本人は親切で、人助けが上手です。問題があった場合、対応方法が分からなくても一生懸命解決策を探してくれ

●公共サービス・秩序

主に、公共交通機関は予定通り運行します。ほとんどの公的な事業は素早く作業し、お客さんに対する対応は丁寧で親切です。

●清掃・片付け

片づけが上手な日本人の教育の影響が大きいのだと思いますが、各地の街はきれいに整備されています。

●便利

街のいたるところに24時間営業しているコンビニやドラッグストア、自動販売機、公衆トイレなどが設置され、便利なお店が盛りだくさんです。

●食

季節に関わらず、日本料理は美味しいです。しかも、どんなに安くても料理が美味しくなかったという店に入ったことはあまりありません。レストランでは無料でお絞



●美しい フランチのお気に入りの場所「谷水棚田」

山、海、島など自然が豊富な日本では忘れられないほど素晴らしい景色を見ることが出来ます。日本人はいろいろな形で美しいものを大切にすることを表します。例えば、お弁当をはじめ食べ物の出し方（お皿の形、周りの飾り、食材の色合いや形など）、雑貨で販売されている小物のデザインやかわいいカフェの外見、細かいところまで整備されている日本庭園などは、とても美しいです。

これらは日常生活で役に立つもので、毎日を明るく照らしてくれるものです。そのようなことから、日本は住みやすいと感じることが多く、帰りたくない気持ちになります。逆にイタリアに帰国したとき、私の第4の故郷日本が恋しくなり、早く帰りたくなります。

※フランチの故郷

第1の故郷：スイス（生まれたところ）

第2の故郷：イタリア（育ったところ）

第3の故郷：ドイツ（大学、大学院時代を過ごしたところ）



フランチの「ヴォーノ!!イタリア料理講座」

企画振興課 ☎050(3381)5030 FAX0957(82)3086
Eメール: chikiseisaku@city.minamishimabara.lg.jp

イタリアからの国際交流員フランチェスカのイタリア料理講座を開催します。
簡単なイタリア語・イタリア文化を勉強しながら楽しく料理を作ってみませんか?
お子様連れでも大丈夫です。

※「ヴォーノ」とは、イタリア語で「おいしい」という意味。

受講生
募集

かぼちゃのクリームスープ&きのこのリゾット



11月19日(木) 午後7時~午後9時30分

有家保健センター

定員20人(先着順)

定額500円(参加人数で変動)

10月30日(金) 午後5時

電話、FAX、Eメールで申し込んでください。



つなごう未来へ! 島原半島世界ジオパーク



島原半島世界ジオパーク
キャラクター「ジーくん」

ジオパークであり 続けるための取り組み

島原半島ジオパーク協議会 ☎0957(65)5540



島原半島世界ジオパーク
キャラクター「ジーちゃん」

ジオサイト⑱ 武家屋敷 ~湧水と石垣がつくる独特の街並み~



下ノ丁に残る武家屋敷の景観。道の中央に水路を配する町並みが、約400mにわたって続いています。



武家屋敷に見られる代表的な石垣。
・下2段が「打ち込み接ぎ・布積み」
・上3段が「切り込み接ぎ・異形亀甲積み」という積み方。
・最上段には乱雑に積まれた「つづて石」も乗っています。

今回は島原市の代表的な観光スポットの一つ武家屋敷です。

武家屋敷は、松倉重政公が元和4(1618)年に島原城の築城を始めた際に、下級武士が暮らす住宅地として整備されました。島原城が完成した寛永2(1625)年ごろには、島原城の西側に下ノ丁、中ノ丁、古丁が整備されました。その後、藩主が松平公に変わった後は、下新丁、上新丁、新建、江戸丁、新屋敷が段階的に整備され、「島原大変」がおこる寛政4(1792)年までに、ほぼ現在の街並みになりました。

この地に暮らしていた武士が鉄砲隊であったことや、建設当初は家の間に垣根がなく、隣の家の中が、まるで鉄砲の筒を覗くように丸見えだったことから、この屋敷群は「鉄砲町」と呼ばれました。しかし、安永3(1774)年に宇都宮から転封してきた松平忠恕公が、「速やかに塀と垣根を作り、宅地の境界を定めよ」とお触れを出したことから、翌年に家同士の間低い石垣と垣根がつけられました。

武家屋敷には、幕末に当たる慶応元(1865)年には690戸もの家がありました。ここに暮らす人たちの生活を支えるために造られたのが、道の中央を流れる水路です。水路は町並みにあわせて5筋つくり、そこには武家屋敷内にある古丁清水と、杉谷にある杉山権現熊野神社の境内に湧き出す湧水が引かれました。水路を流れる水は、人々の大切な生活用水であったため、水奉行が置かれ、厳しく管理されていました。

藩政時代が終わり、明治時代になると、垣根は徐々に石垣に代わっていきました。現在の武家屋敷では、「野

面積」 「乱積み」 「布積み」 「異形亀甲積み」など、さまざまな組み方の石垣が列を成し、独特の景観を創っています。

これらの石垣を作る溶岩は、雲仙火山から噴出したものです。また、水路を流れる豊富な湧水も、雲仙の山々に降った雨が、長い年月をかけて地中を移動し、地表に湧き出したものです。島原城下400年間の歴史が育んできた独自の景観は、まさに雲仙火山の噴火と、そこから生まれた恵みを活用することによって培われてきたものといえるでしょう。

次回は、平成噴火の開始を紹介します。

島原半島ジオパーク検定

今年も島原半島ジオパーク検定(初級編・中級編)を開催します。ぜひチャレンジしてください。
※中級編は初級編合格者に限る

11月21日(土) 午前10時30分~11時30分

有明総合文化会館

●試験問題…「島原半島ジオパークのことがわかる本」
2012年度改訂版から70%以上出題。

・初級編: 全問3択問題

・中級編: 70%が3択問題、30%が筆記問題

◎高校生以上…1,080円、中学生以下…540円

10月19日(月)~11月9日(月) 必着

◎事務局へ備え付けの申込用紙に必要事項を記入の上、申し込んでください。

◎ジオパーク検定事務局(島原半島ジオパーク協議会事務局)
☎0957(65)5540